



11月 えんだより



ともしび保育園 11月1日発行



10月21日に4歳児ぱんだ組と5歳児きりん組でいもほり遠足へ行ってきました。今年の夏も非常に暑く、幼児クラスが園庭のプランターに植えた夏野菜があまり育たず、ニュースでも野菜の不作が報じられていたので、サツマイモの成長も心配していました。昨年も暑さの影響で小ぶりのサツマイモが多く、農家の方も不作と言っていました。

サツマイモの成長と天候に一抹の不安が拭えない中、芋掘り遠足に出発しました。天候は涼しいくらいで、雨も降らず曇り空で気候的にはちょうど良かったです。さて肝心の芋掘りですが、掘っている最中畑にカナヘビがいたり、土の中にカブトムシの幼虫より一回り小さい幼虫がいて、芋を掘るところではない子もいました。カナヘビを見た年長の女の子が「そーいうのAちゃんにみせて。すきだから。」と教えてもらい見せにいくと、「ヤモリじゃん。その辺に逃がしてあげて。」と冷静に話していました。あまり保育園では出会えない生き物たちとお別れの挨拶し、いざ芋掘り再開です。

今年のサツマイモは非常に大きく、子どもの顔の長さのものや、中には顔の幅より大きいものもありました。しかしそれだけ大きいと掘るのが大変。畝になっている土を掘りますが中々芋の根っこが出て来ず、地面より更に下まで掘る子もいました。しかし行きのバスの中で芋の掘り方のレクチャーを受けていたので、引き抜こうとするのを我慢して、ついに“でっかい”サツマイモが採れた時の子どもたちの笑顔は最高でした。

今までサツマイモを育ててくれた農家さんに「今年は豊作ですか。」と話を聞きました。すると「いえいえ、肥料を調整した。」との事でした。芋は35℃以上になると成長が止まってしまうそうで、肥料で温度が上がりすぎないように調整してくれたそうです。最後に農家さんに「お芋を今まで育ててくれてありがとう」と感謝とお礼をして畑を後にしました。

秋になると食べ物が一段と美味しくなり、秋の恵みを感じられる季節です。食べ物を生産してくれる方々への感謝、何より太陽や水、生き物などを与えてくれ、一人ひとりが生かされている事への感謝を神様にささげたいと思います。



11月に秋の恵みや収穫への感謝礼拝があります。その礼拝を通して、命をいただいて生きている事を感じられるように礼拝を持ちたいと思います。

園長 渋谷順一